

長野県立美術館

NAM コレクション 2023 第VI期

長野県立美術館では、「NAM コレクション 2023 第VI期」を下記のとおり開催します。

NAM コレクション 2023

信州出身の作家たちや信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館のコレクション。一年を通して、洋画、日本画、工芸等さまざまなジャンルの収蔵品を展示します。

展覧会概要 「NAM コレクション 2023 第VI期」

【会 期】 2024年(令和6年)2月15日(木)～4月23日(火)

＊休館日＝毎週水曜日[3月20日(水・祝)は開館]、3月21日(木)

【会 場】 長野県立美術館 2F コレクション展示室

【開館時間】 9:00～17:00 (展示室への最終入場は16:30まで)

【観 覧 料】 (本館・東山魁夷館共通)

一般 700円、大学生及び75歳以上 500円

高校生以下又は18歳未満無料



山本鼎《白菜と赤蕪》
1937(昭和12)年

【内 容】

NAM コレクション 2023 第VI期では、3月16日から始まる企画展「春陽会誕生100年 それぞれの闘い」の連動企画として、信州にゆかりのある春陽会作家の作品を特集展示します。また、小特集「ポートレートとしての女性」では、女性を主題とした作品や女性作家による作品を取りあげ、表現と女性との関係を歴史的、社会的な背景を踏まえて紹介します。さらに、信濃デッサン館コレクションから昨年逝去した野見山暁治の作品を紹介し、その画業を顕彰します。

▶展示構成

① 企画展連動 春陽会と信州

春陽会創立から100年を記念して開催する企画展「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」(会期:3月16日～5月12日)に連動した特集です。

春陽会は洋画界を代表する第3の団体として1923年に設立されました。本特集では、山本鼎や倉田白羊、河野通勢をはじめとした春陽会に関連する作家の作品を展示し、信州にゆかりの深い同会の活動の一端をご覧ください。

② 特集 ポートレートとしての女性

女性は、古くから「ポートレート(肖像)」として芸術作品に登場してきました。当館所蔵の近現代美術の作品にも、その歴史のなかに位置づけられるものが多くあります。主題によっては、西洋美術が日本に入ってきたばかりの明治以降の近代化における女性の姿を反映している作品もあるでしょう。芸術の表現者としての女性の「ポートレート」は、そうした社会的背景の克己の顕われであるかもしれませんが、現代に近づくほど、女性という枠組みを前提としていないのかもしれませんが。特集の後半では「ポートレートとしての女性」に着眼した作品を展示します。

③ 追悼—野見山暁治

日本を代表する洋画家のひとりである野見山暁治（1920-2023）は、自身の眼がとらえたイメージを大胆に再構成した独自の画風で知られています。その活動は幅広く、自身と同様に出征した戦没画学生の遺作収集に奔走し、「無言館」（長野県上田市、1997年開館）の設立にも尽力しました。

当館では、無言館に併設していた旧信濃デッサン館（現 KAITA EPITAPH 残照館）から購入・受贈した一連の作品群を「信濃デッサン館コレクション」として位置づけており、野見山の油彩画3点も含まれます。本特集では、ここから初めてのお披露目となる作品を展示し、昨年102歳で逝去するまで精力的に制作活動を続けた作家の画業を顕彰します。

▶主な展示作品

- ・山本鼎《白菜と赤蕪》1937（昭和12）年
- ・戸張孤雁《海女》1924（大正13）年 [信濃デッサン館コレクション]
- ・辰野登恵子《Aug1-2-2003》2003（平成14）年
- ・野見山暁治《このままにしよう》2015（平成27）年 [信濃デッサン館コレクション]

▶関連イベント

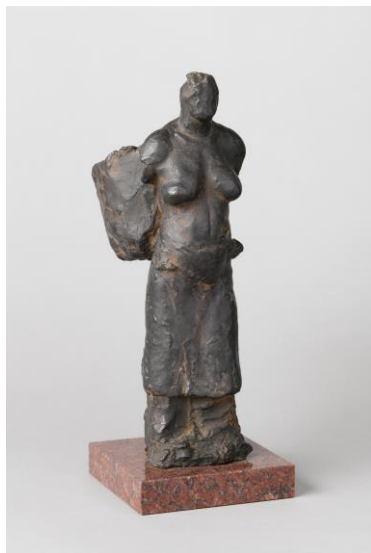
担当学芸員によるギャラリートーク（申込不要）

日 時：2月17日（土）午後2：00～ 場所：2F コレクション展示室

参加費：無料（ただし観覧料は必要）

【広報用画像】

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入の上、メールまたは FAX にてお申込み下さい。



① 戸張孤雁《海女》1924（大正13）年
[信濃デッサン館コレクション]

② 山本鼎《白菜と赤蕪》1937（昭和12）年

<別紙>

長野県立美術館 行 メール: nam-pr@naganobunka.or.jp FAX: [026-232-0050](tel:026-232-0050)

広報用画像申込書

NAM コレクション 2023 第VI期

会期: 2024年2月15日(木) ~ 4月23日(火)

■本展覧会の広報用画像を用意しております。ご希望の画像の左欄に○をつけていただき、必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込み下さい。写真はデータにてお送りします。

○をつけて ください		番号	画像名
	①		戸張孤雁《海女》1924(大正13)年 [信濃デッサン館コレクション]
	②		山本鼎《白菜と赤蕪》1937(昭和12)年

●貴社についてお知らせください

貴社名 _____ / 媒体名(雑誌、番組名等)

ご担当者名 _____ / 所属部署

ご住所 〒 _____

電話 _____ / FAX

E-mail _____

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日 () に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

長野県立美術館
(副館長兼広報・マーケティング室長) 米山
(学芸課 展覧会担当) 茂原
(広報担当) 日野
(電話) 026-232-0052 (FAX) 026-232-0050
(H P) <https://nagano.art.museum/>
(MAIL) nam-pr@naganobunka.or.jp